

# 南 中 ラ イ フ

7月10日

第1実践

## R1.7.10(Wed)6校時 北九州市立南小倉中学校体育館



令和元年度の国立教育政策研究所（文部科学省）教育課程指定研究が藤堂教諭の実践でスタートしました。今回は指導・助言に、桐蔭横浜大学の佐藤教授と市教育委員会から青木担当課長、植村指導主事、学力・体力向上推進教員の西岡先生の4名に参観していただきました。校長室での協議会では、温かい雰囲気の中、講話も交えながら有意義な時間を過ごすことができました。時間割等でご配慮いただきました先生方の協力に感謝します。

藤堂先生、お疲れ様でした！

### 1 陸上競技（ハードル走）の指導の在り方について

7月10日の実践に向けて、6月28日と7月5日の2回にわたって予備実践を行い、陸上競技（ハードル走）の授業構成の考え方と2学年で育みたい資質・



能力について考えてきました。今までとの違いは、改訂学習指導要領における改定のポイントやハードル走における技術指導のポイントについて、「苦手な子も主体的に取り組めるか」「関わり合いの価値について子どもが相互に実感できる発問やワークシート」「8時間のハードル走を通して、何をどう学ばせるか」とい



ったことが議論になりました。

### 2 年間指導計画の見直しと簡易単元構造図を用いた授業づくり

藤堂先生による本時の自評があった後、参観した市教育委員会担当者や先生方から意見をいただきました。その後、佐藤教授から、2年間の見直し、改訂後の年間指導計画、系統性を踏まえた単元構造図と評価規準について話がありました。今後の課題として、「3観点バランスよく育む中で、何に焦点化して見取るのか、そこを教師、子ども相互が明らかになることで指導が充実し、子どもにも変化が見えればいいですね。」と締めくくられました。学習の目標や内容を的確に計画を立て、1時間をより効果的（効率的ではない）に（深く思考し、技能や知識につながる）（教え込みでない）進める方法を工夫することが授業改善だと思うのですが、皆さんの教科ではいかがですか。



次回は、10月16日（水）に、保健分野と体育分野の授業研究になります。風の噂では、体育分野で渡邊教諭がデビューします。当日は学・体代表授業と兼ねますので、全教職員に研究組織図に従って役割分担があり、協議会にも参加していただきます。ご協力ください。よろしくお願いいたします。